

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
AsianFrontier5号棟

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・遅延制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 日光制御								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 タニコカビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能								4.0
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年以上						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外ダクト:ガルバリウムダクトの採用						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		冷水管:SGP(白)、冷却水:PLP、加温給水:SUS						
6 主要設備機器の更新必要間隔								

2.4 信頼性			4.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源種の二重化	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	配管系統の区分化・二重化	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機、無停電電源設備の設置	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	2ルートからの引き込み	5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.7	0.48	-	-	4.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高5.0m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		床荷重: 9800N/m ²	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			4.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	構造材・仕上材を痛めず更新・修繕可能	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	構造材・仕上材を痛めず更新・修繕可能	5.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	構造材・仕上材を痛めず更新・修繕可能	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	構造材・仕上材を痛めず更新・修繕可能	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	構造材・仕上材を痛めず更新・修繕可能	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	将来対応スペース、バックアップスペースの設置	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	外気冷房の導入	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=31.4%	4.8	0.43	-	-	4.8
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=31.4%	4.8		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			5.0	0.29	-	-	5.0
4.1	モニタリング	設備システムの性能評価を行う	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量の目標値を設定	5.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体、内装材、設備機器の分別が可能	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	N2ガス消火	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	押出法ポリスチレンフォーム打ち込み等	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2換算スコア3.3	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		燃焼機器不使用	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	前面道路から十分引き込んだ位置に荷捌き駐車場を配置	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物を設置しない	4.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	